

広報 しばた

10
OCT. 2013
No.624
since 1961

匠

湧きあふれる創意を
卓越した技で形にする

第1回しばた匠まつりの開催

匠による陶器・革細工などの展示販売

日時：10月5日(土)・6日(日) 午前9時30分～午後4時

※6日は午後3時まで

場所：柴田町「太陽の村」 屋外会場 (雨天決行・荒天時は屋内施設)

主催：しばた匠まつり実行委員会

(太田正孝さん 海老穴在住)

コンパクトシティ構想実現への先行投資の状況

町の将来を見据え、「未来への投資元年」と位置付けて行った平成24年度の主要事業の成果と決算額を紹介いたします。

道路改良事業



■ 事業費	1 億 2,260 万円
■ 財 源	町 : 372 万円
	国補助 : 5,748 万円
	その他(起債など) : 6,140 万円

■ 主な事業

- 町道四日市場 1 号線道路改良工事 (継続中)
- 町道入間田 30 号線道路改良工事 (継続中)
- 町道船岡東 43 号線道路改良工事 (継続中)
- 町道上名生 3 号線道路改良工事 (継続中)
- 町道富沢 16 号線道路用地買収

町道四日市場 1 号線

教育環境事業



■ 事業費	14 億 8,542 万円
■ 財 源	町 : 5,219 万円
	国補助 : 4 億 356 万円
	その他(起債など) : 10 億 2,967 万円

■ 主な事業

- 槻木中学校校舎改築工事
- 船迫小学校大規模改造工事 (継続中)

槻木中学校

公園整備関連事業



■ 事業費	1 億 7,849 万円
■ 財 源	町 : 2,909 万円
	国補助 : 7,330 万円
	その他(起債など) : 7,610 万円

■ 主な事業

- 船岡新栄 4 号公園整備工事
- (仮) さくら連絡橋詳細設計委託
- 船岡城址公園バリアフリー工事
- 生月公園整備工事

船岡新栄 4 号公園

水害対策関連事業(※特別会計含む)



■ 事業費	6,068 万円
■ 財 源	町 : 213 万円
	国補助 : 1,093 万円
	その他(起債など) : 4,762 万円

■ 主な事業

- 槻木四日市場分地内用水路分水門設置工事
- 鷺沼排水区雨水整備実施設計業務委託
- 西船迫地区外雨水対策調査業務委託

鷺沼排水区

福祉関連事業



- デマンド型乗り合いタクシー「はなみちゃんGO」
- 事業費 1,697 万円
- 財 源 町 : 1,697 万円



「はなみちゃんGO」
デマンド型乗り合いタクシー

町営住宅関連事業



■ 事業費	6 億 1,751 万円
■ 財 源	町 : 1,380 万円
	国補助 : 1 億 6,011 万円
	その他(起債など) : 4 億 4,360 万円

■ 主な事業

- 北船岡町営住宅 2 号棟新築工事
- 北船岡町営住宅 2 号棟北側通路整備工事
- 神山前町営住宅手摺り設置工事

北船岡町営住宅 2 号棟

観光イベント事業



- 事業費 4,082 万円
- 財 源 町 1,632 万円
- 国県補助 : 2,420 万円
- その他(寄附金): 30 万円
- 主な事業
 - タウンセールス事業(イメージキャラクター「はなみちゃん」)
 - 里山ハイキングコース管理委託
 - しばた桜まつり
 - みやぎ大菊花展柴田大会

「はなみちゃん」
イメージキャラクター

農業振興関連事業



- 事業費 3,562 万円
- 財 源 町: 3,562 万円
- 主な事業
 - 米放射性セシウム吸収抑制対策事業補助
 - 集落営農水田担い手対策事業補助
 - 鉢花ブランド化推進事業補助
 - 花き類新品種導入事業補助

集落営農水田
担い手対策事業

町税
115,706 円



町債(町の借入)
65,283 円



歳入
(入ったお金)
総額 376,041 円

平成24年度

町民一人あたりで見た決算額

(平成 25 年 3 月 31 日現在の
人口 38,566 人で計算)

民生費
77,599 円



総額 360,528 円
歳出
(使ったお金)

衛生費
29,592 円



総務費
38,140 円



土木費
51,503 円



災害復旧費
19,733 円



教育費
67,164 円



農林水産業費
6,927 円



消防費
10,835 円



商工費
9,889 円



議会費
4,146 円



労働費
606 円



公債費
44,394 円



平成24年度の町の財政事情を報告します

決算報告

平成 24 年度の一般会計、特別会計および水道事業会計の決算がまとまり、平成 25 年度町議会 9 月会議で認定されました。

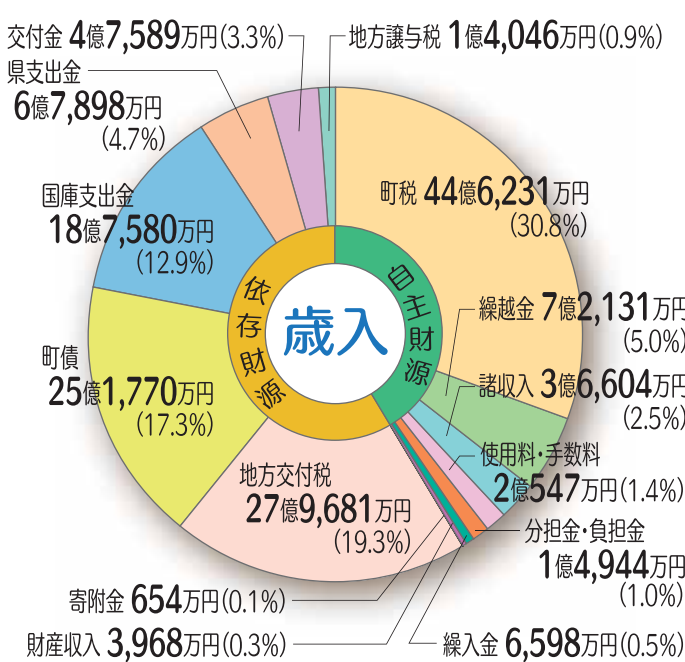
皆さんが納める税金や国・県からの支出金などがどのように町の財政運営に使われているのか、決算の概要についてお知らせします。 ※千円以下は端数調整しています。

決算の概要

平成24年度の一般会計、特別会計および水道事業会計を合わせた決算額は、歳入が253億4113万円で、前年度と比べ19億5193万円（8・3%）の増となりました。また、歳出が243億3999万円で、前年度と比べ20億502万円（9・0%）の増となりました。

一般会計でみると、歳入の決算額が145億241万円で、歳出の決算額が139億410万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源3億5916万円を除いた実質収支額は、2億3915万円の黒字となりました。

一般会計 歳入 総額 145億241万円



歳入では、皆さんが納めた町税のうち固定資産税が評価替えにより減少しましたが、一部企業の法人町民税と個人町民税が増加したことにより、前年度より2986万円増え、44億6231万円と歳入全体の30・8%を占めています。

一方、国から交付される地方交付税は、東日本大震災の復旧復興に使用する震災復興特別交付税が減少したことにより、前年度と比べ全体で9億6898万円減り、27億9681万円と大幅な減少となりました。

また町債は、平成23年度に予定していた事業が多く繰り越された影響もあり、前年度と比べ14億7670万円増え、25億1770万円となりました。

用語解説

【一般会計】

総務費や教育費、民生費など行政（まち）を運営するための基本となるものです。

【特別会計・水道事業会計】

一般会計と別に独立した会計で、特定の事業を特定のお金で行うために一般会計とは別に管理します。

【歳入】

●町税：皆さんに納めていただく税金で、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などがあります。

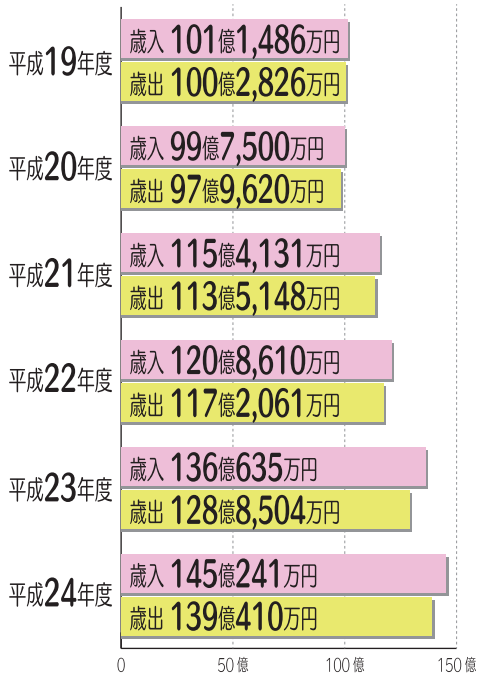
●繰入金：町の一般会計以外の会計（基金など）から移すお金です。基金を取り崩して一般会計に入れる場合は、基金繰り入れという扱いになります。

●地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金です。

●町債：大きな事業を行うために国や金融機関などから長期借入れをしたお金です。

●国庫支出金および県支出金：市町村が行う特定の目的に対して、国および県から交付されるお金です。

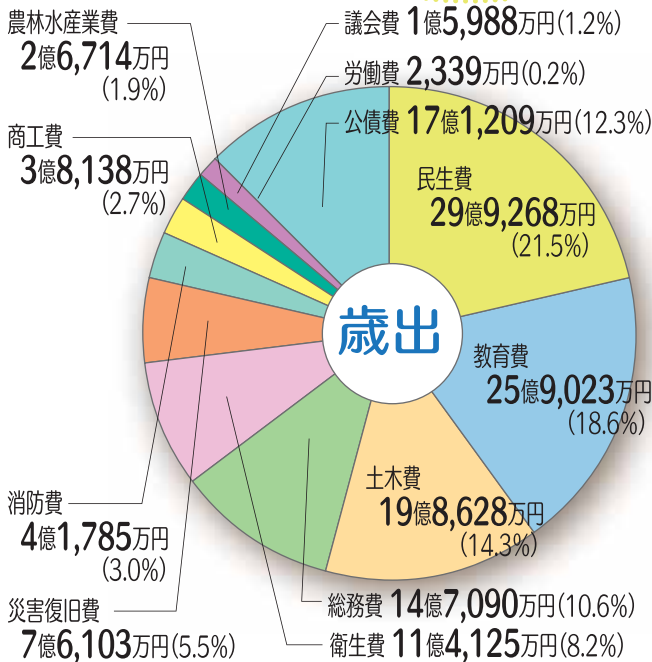
一般会計総額の推移



平成24年度決算の内訳

内 訳	歳 入	歳 出	差し引き額
決 算 総 額	253億4,113万円	243億3,999万円	10億 114万円
一 般 会 計	145億 241万円	139億 410万円	5億9,831万円
特 別 会 計	95億 429万円	89億7,012万円	5億3,417万円
国民健康保険事業特別会計	45億7,859万円	41億6,147万円	4億1,712万円
公共下水道事業特別会計	18億9,728万円	18億2,538万円	7,190万円
介護保険特別会計	22億6,109万円	22億1,857万円	4,252万円
後期高齢者医療特別会計	3億2,601万円	3億2,376万円	225万円
土地取得特別会計	4億4,132万円	4億4,094万円	38万円
水道事業			
収益的収入支出	12億1,833万円	11億3,949万円	7,884万円
資本的収入支出	1億1,610万円	3億2,628万円	-2億1,018万円

一般会計 歳出 総額 139億410万円



歳出では、東日本大震災からの復旧復興関連事業や放射線対策に最優先に取り組んだほか、学校施設の改新築・改造工事を行い、安全で快適な教育環境の充実を図りました。また、児童センターと子育て支援センターを合築した(仮)船迫子どもセンターの基本計画や子ども医療費の助成の拡充など、子育て・子育て支援の充実に努めました。

歳出の内容を目的別に見ると、障がいのある方や高齢者への福祉、子育て支援などの民生費が29億9,268万円で歳出全体の21.5%を占めています。次に、学校教育、生涯学習、スポーツ振興、教育施設の整備などに使われる教育費が25億9,023万円、3万円です。土木費が19億8,628万円、道路や河川、公園の整備などに使われる土木費が19億8,628万円です。14.3%を占めています。

【歳出】

- 地方譲与税：国税の自動車重量税や地方道路税などの全額を一定の基準（道路の長さや面積など）により分配されるものです。
- 民生費：障がいのある方や高齢者への福祉、子育て支援の経費です。
- 総務費：行政全般の事務経費です。
- 土木費：道路や公園整備、施設建設の経費です。
- 教育費：学校教育や生涯学習、スポーツ振興などの経費です。
- 衛生費：環境の保全や疾病予防のための経費です。
- 消防費：消防・救急業務、災害対策のための経費です。
- 災害復旧費：災害により被災した施設を復旧するための経費です。
- 商工費：商工業や観光の振興のための経費です。
- 農林水産業費：農林業の振興や生産基盤整備のための経費です。
- 議会費：議会運営のための経費です。
- 労働費：労働者の生活安定や福利増進事業のための経費です。
- 公債費：町債を返済するための経費です。

平成24年度決算に基づく 健全化判断比率などの状況

実質赤字比率

該当なし

早期健全化基準…13.83%

福祉、教育、町づくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の健全化の度合いを示す指標です。

連結実質赤字比率

該当なし

早期健全化基準…18.83%

特別会計や企業会計を含むすべての会計の赤字や黒字を合わせて、町全体としての赤字の程度を指標化し、全会計の財政運営の悪化の深刻度を示す指標です。

実質公債費比率

11.8%

早期健全化基準…25.0%

町の借入金にかかる元金および利息の支払額が標準財政規模に対して、どのくらいの比率なのかを見るもので、町の資金繰りの程度を示す指標です。

将来負担比率

70.7%

早期健全化基準…350.0%

町の借入金や将来支払わなければならない負担金などの残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標です。

資金不足比率

該当なし

経営健全化基準…20.0%

公共下水道事業と水道事業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示す指標です。

町では、いずれの指標も国が定める財政の早期健全化の基準を大幅に下回っており、収支バランスの取れた、健全な財政運営が行われています。

※「早期健全化基準」とは…例えるとイエローカードに当たります。4つの指標のうち、一つでもこの基準以上になった場合は「早期健全化団体」となり、健全化計画を策定して自主的に財政の健全化に取り組むこととなります。

※「財政再生基準」とは…例えるとレッドカードに当たります。将来負担比率を除く3つの指標のうち、一つでも基準以上になった場合は「財政再生団体」となり、財政再生計画を策定して、国の監督する下で財政再建に取り組むこととなります。

基金(町の貯金)の状況

内 訳	年度末残高
合 計	16億9,032万円
一般会計	14億971万円
財政調整基金	11億4,599万円
町債等管理基金	1億9,799万円
学校施設整備基金	1,564万円
スポーツ振興基金	1,460万円
図書館建設基金	1,058万円
21世紀の田園文化創造基金	927万円
科学学習振興基金	504万円
高額療養費貸付基金	500万円
さくら基金	405万円
防災基金	82万円
特色のある教育活動支援基金	50万円
ふるさと柴田応援基金	23万円
国民健康保険事業特別会計	1億6,516万円
国民健康保険事業財政調整基金	1億5,686万円
国民健康保険健康づくり基金	590万円
国保出産資金貸付基金	240万円
介護保険特別会計	1億1,545万円
介護給付費準備基金	1億1,545万円

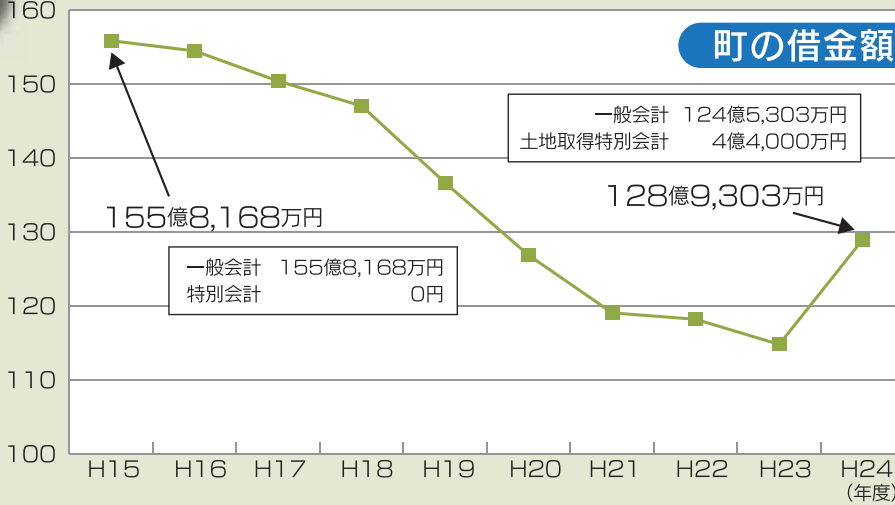
町債(町の借金)の状況

内 訳	年度末残高
合 計	245億7,648万円
一般会計	124億5,303万円
臨時財政対策債	51億4,252万円
土木債	26億1,470万円
教育債	20億1,608万円
公営住宅債	10億7,627万円
農林水産債	5億7,950万円
減税補てん債	4億7,517万円
民生債	2億3,145万円
災害復旧債	7,835万円
臨時税収補てん債	7,788万円
総務債	7,195万円
災害援護資金貸付金	5,380万円
商工債	1,923万円
消防債	1,613万円
公共下水道事業特別会計	86億17万円
水道事業会計	30億8,328万円
土地取得特別会計	4億4,000万円

グラフで見る財政

町の借金額

町債の推移 (一般会計+土地取得特別会計)

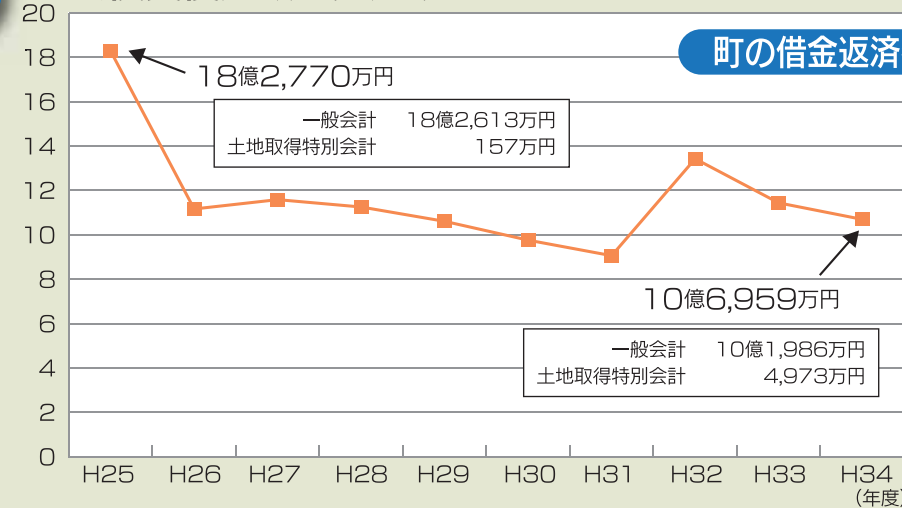


町の借金額が減っています

平成 24 年度に借金が増えているのは、槻木中学校校舎改築と北船岡町営住宅2号棟の建設が重なったためです。

町の返済額

公債費償還額の見込み (一般会計+土地取得特別会計)



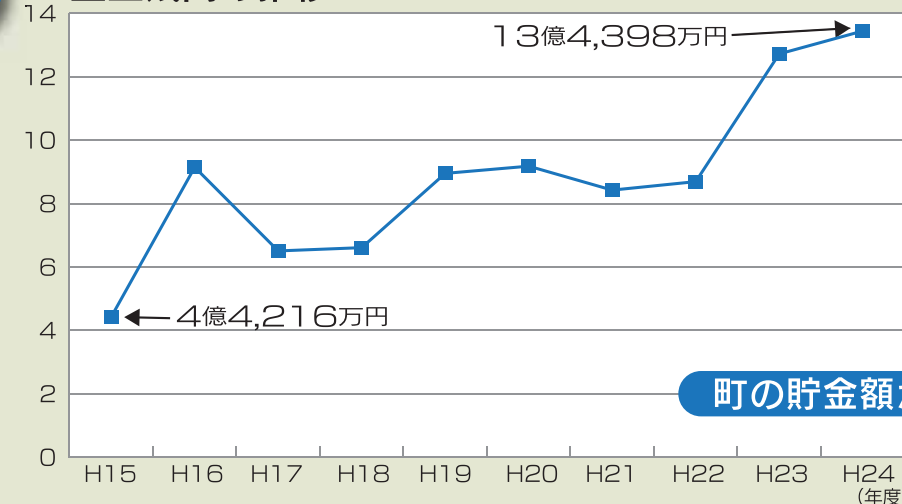
町の借金返済額は減少傾向です

平成 24 年度に大型事業を行いましたでしたが、毎年の借金の返済額は減少傾向です。

※平成 25 年度以降に発行する町債は含まれておりません。また、借換えは考慮しておりません。

町の貯金額

基金残高の推移 (財政調整基金+町債等管理基金)



町の貯金額が増えています

町の貯金残高は、13 億 4,398 万円と過去最高となりました。

学校給食センターは、 柴田町単独での 建設になりました

柴田町長 滝口 茂

柴田町・村田町・大河原町の各学校給食センターは、それぞれ同時期の建設で、すでに30年以上の年月が経過していました。そのため、建物・設備の老朽化の進行や狭あいスペースに起因する作業効率の悪さ、さらには、東日本大震災による耐震化の必要性やアレルギー対応食などの課題も重なり、早い、早急な施設整備が求められていました。

そこで、3町が解決しなければならぬ共通の課題としてとらえ、3町共同による学校給食センターの建設が可能かどうかを調査する検討会を昨年8月に立ち上げ、今日に至っております。

そもそも3町共同による学校給食センター建設に関する協議は、村田町からの申し出で始まったものです。

ところが先日(8月28日)の村田町議会の産業建設教育常任委員会で、村田町民の意思表示としての「村田町単独での給食センター建設に関する請願」が採択されたことは予想外であり、誠に残念としか言いようがありません。議会の請願採択は議会の権限に基づき、原則として常任委員会等に付託された中で審議されるものであり、その結果として村田町議会が、「村田町単独で建設する」という一定の判断を示したものと理解

いたしました。

私は、村田町の保護者の皆様の多くが、村田町単独での建設を望んでいたことや村田町議会もそうした住民の声に賛意を示したこと等を斟酌し、「共同建設の可能性は極めて薄い」柴田町として単独整備を視野に入れざるを得ない」という意向を村田町に伝えました。

8月30日に、この件に関して3町長で話し合った結果、「3町共同による学校給食センター構想は断念する」ことで合意したものです。

今後、柴田町としては、3町共同学校給食センター並みの規模と機能を備えた新しい学校給食センターをつくるのは困難としても、それに近づけた学校給食センターの整備に向けて、計画を立てていきたいと思っております。

3町が単独での建設を選択するに至った主な誘因

1

村田町の児童生徒の保護者へのアンケート調査において「村田町単独で進めた方が良い」が42%、「3町共同で進めた方が良い」が15・7%であったこと。

2

村田町民は、平成24年3月に学校給食整備検討委員会からの答申を受けて、給食センター方式(共同調理場方式)が具体的に検討されている時期にもかかわらず、突然、3町共同学校給食センター(7,000食)方式への変更が示されたことへの懸念が芽生えたこと。

3

村田町民の間に、自校方式(小型)から3町共同方式(大型)へと2段階飛びで計画された構想への不安が広がり、それを受けて町民から「村田町単独での給食センター建設に関する請願」が提出されたこと。

村田町議会が、「村田町単独で建設する」という一定の判断を示したものと理解

いたしました。

私は、村田町の保護者の皆様の多くが、村田町単独での建設を望んでいたことや村田町議会もそうした住民の声に賛意を示したこと等を斟酌し、「共同建設の可能性は極めて薄い」柴田町として単独整備を視野に入れざるを得ない」という意向を村田町に伝えました。

8月30日に、この件に関して3町長で話し合った結果、「3町共同による学校給食センター構想は断念する」ことで合意したものです。

今後、柴田町としては、3町共同学校給食センター並みの規模と機能を備えた新しい学校給食センターをつくるのは困難としても、それに近づけた学校給食センターの整備に向けて、計画を立てていきたいと思っております。

何とぞ、町民の皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

3町共同学校給食センター 建設に関する経緯

平成 24 年度

- 8月23日 3町の職員による第1回検討会の開催
- 12月27日 6回の検討会を踏まえて、建設可能性調査報告書を作成
- 1月17日 柴田町議員全員協議会で建設可能性調査報告書を説明（第1回）
- 2月6日 柴田町議員全員協議会で保護者への説明スケジュールを説明（第2回）
- 2月12日 村田町の住民有志が「村田町単独での給食センター建設の請願」を村田町議会に提出

平成 25 年度

- 4月16日 柴田町議員全員協議会で意向調査実施内容を説明（第3回）
- 4～5月 小中学校の保護者を対象に説明会を開催し意向調査を実施
- 6月10日 柴田町議員全員協議会で意向調査の結果を報告（第4回）
- 8月12日 3町長が整備費用の負担割合などについて合意
- 8月21日 柴田町議員全員協議会で負担割合などを説明（第5回）
- 8月28日 村田町議会産業建設教育常任委員会が「村田町単独での給食センター建設に関する請願」を採択
- 8月29日 村田町長からの請願採択を受け、単独建設の方針を固める
- 8月30日 3町長での会議
「3町共同学校給食センター建設は断念」で合意
- 9月2～4日 3町長が各町議会で単独建設の方針を表明
- 9月5日 柴田町議員全員協議会で3町共同給食センター建設に関わる経過を報告（第6回）

4

村田町議会の産業建設教育常任委員会に付託され、慎重審議された結果「村田町単独での給食センター建設に関する請願」が採択されたこと。

5

3町共同による学校給食センター建設の発案者である村田町自体が、町民や議会の意向を十分把握しきれていなかったこと。

6

児童生徒の学校給食センター建設を政治的混乱や相反する町民の意見がある中で、あえて無理強いしてまで進めるべきではないと判断したこと。

今後の対応とつて

- 1 学校給食センターについては当分の間、施設を修繕して使用していきます。
- 2 平成27年度に策定される柴田町総合計画の後期計画で、建設時期を明記します。
- 3 現在の学校給食センターに係る緊急修繕や新しい学校給食センターを建設する際の財源を確保するため、平成26年度から「学校給食センター建設等整備基金」として、積立を行います。



103 柴田町長 滝口 茂

最近よく地域生活における不安や不満の声を耳にします。「1人暮らしや2人暮らしのお年寄りが増え、近所づきあいが減ってきた」

「町内会や自治会の役員さんになる人がいない」「近くにお店がなくなり買い物もままならない」などさまざまです。

こうした背景には、核家族化が進み頼れる家族が近くにいないことや地元のお店より安くて便利な大型店での買い物優先したことなどが考えられます。特に問題なのは、世の中に人を世話する余裕がなくなってしまうことにあると思います。

まさに我が国は今、日常生活の基盤である地域社会から崩れかかろうとしています。こうした地域社会の危機は、人の結びつきや地域でのつながりが弱くなったことに起因していますので、アベノミクスといった経済戦略だけで解決できるものではありません。地域への帰属意識を高める新たなコミュニケーション政策が必要です。「どうしたらもう一度、住み心地の良い地域社会となるのか」そのためには、まず住民自らがお金では買えない地域社会における「共助」の精神

地域社会の危機

の大切さやその価値の重要性を再認識する必要があります。もちろん地域社会には老若男女、地位や職業、立場や考え方が異なる人が住んでいますし、近所づきあいを煩わしいと感じる人もいます。そのため町としては、昔のような強い絆で結ばれた共同社会に戻ることは困難と考え、地域住民が出来る範囲で協力し合う「協力社会」の実現を目指すことにしました。

その具体策として今回、行政区に對して地域計画の策定をお願いしました。地域社会が今後とも安心して住み続けられる場所となるよう目標を定め、行政と地域との役割分担を明確にした上で、みんなで汗をかくための計画です。

行政区においては初めての自前の計画となるだけに、当初はとまどいもあつたようです。しかし、何度か会合を持つ中で、地域の良いところや地域課題を抽出して、その解決方法を考えたいいただきました。今年度中には、全ての行政区で計画が策定されることとなります。

自分さえ良ければ、という風潮によって起こるべくして起こった地域社会の危機は、自らの実践力と地域の結束力で乗り越えていく以外に道はないと思っています。

みんなで育てる 笑顔輝く 元気なまち!!

しばたっ子応援団

活動紹介⑥

船岡婦人会のみなさん

地域全体で子どもを育てる

船岡婦人会の皆さんには、「しばたっ子応援団」として、町内小学校の支援要請に応じて、健康診断時の児童の誘導や器具の準備・片付け、昔遊び体験活動の指導などさまざまな活動にご協力をいただいています。先日は、教室に備え付けてある歯ブラシ・コップを入れるケースの布カバーを作成していただきました。心強いサポートは、学校教育の充実はもちろんのこと、地域全体で子どもを育てる環境づくりにつながっています。

童心に返り楽しいひと時を

昨年度から、学校支援ボランティア活動に参加しています。昔遊び体験活動では、折り紙やお手玉、あやとりなどで子どもたちと一緒に遊び、私たちも童心に返って楽しいひと時を過ごしました。後日、子どもたち一人ひと



りから「もっと遊びたかった」また来てください」などの心温まる手紙をいただき、会員一同、とても嬉しく思いました。

(船岡婦人会会長：高橋敏子さん)

会にとっても貴重な機会に

1人暮らしや高齢の会員も増えている婦人会の皆さんにとって、学校支援ボランティアの活動は「メンバー同士が顔を合わせ、コミュニケーションを深める貴重な機会」。そして「生きがいややりがいの場」になっているとのこと。

問 生涯学習課 ☎555-2135



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ6

健康推進課 TEL 55-2160
FAX 55-4172



目指そう! 無理なく元気に「+10」

体を動かす時間を少しずつ増やしていきましょう。
こまめな水分補給も大切です。無理のない目標で、
体を動かしましょう。

【身体活動の目標時間】

○ 18歳～64歳の方

1日合計60分、8,000歩が目標です。

元気に体を動かしましょう。

○ 65歳以上の方

座ったり横になったりなどのじっとしている時間を少しでも減らして、1日合計40分動きましょ。

【運動の目標時間】

1回30分以上の軽く汗ばむ程度の運動を、週2日以上行いましょう。

身体活動=生活活動(*)+運動

*家事や買い物など、日常の生活で行っている動作のこと。



このコーナーは、耳よりの健康情報をわかりやすく紹介し、
皆さんが楽しく健康づくりに取り組めるようサポートします。
第6回目のテーマは「身体活動と運動」です。

「+10」で健康を手に入れましょう!

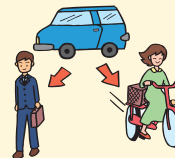
普段から体を動かすことで、糖尿病やがん、うつ、
認知症などの病気にかかりにくくなり、足腰も丈夫
になっていきます。

今より、あと10分多く体を動かして (+10)、
毎日をいきいきと過ごしましょう!

始めよう! 出来ることから「+10」

【通勤・通学で】

- 自転車や徒歩で行ってみよう。
- 電車で一番遠い車両に乗ってみよう。
- 信号待ちで足踏みしてみよう。



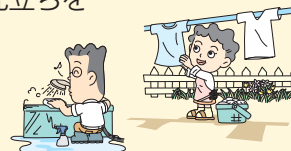
【職場で】

- トイレは階段で別の階へ行ってみよう。
- お昼休みにストレッチをしてみよう。
- 歩幅を広くして歩いてみよう。



【家庭で】

- キビキビ動いて掃除や洗濯をしてみよう。
- 料理をしながらつま先立ちをしてみよう。
- テレビを見ながら腹筋をしてみよう。



保健師からのアドバイス

体を動かすのが気持ちのよい季節となりました。
ちょっとした時間に近くの運動施設や公園で運動したり
ウォーキングをしたり、健康づくり教室やスポーツイベ
ントに参加して、毎日をアクティブに暮らしましょう。

広 告

広 告

まちかど NEWS



会場の盛り上がりは最高潮！「F中ふあいと」の演奏



バンド名は年齢？ 生まれ年？ 陽気な中年バンド「THE 44's」

バンドマン集結

NEWS

～音楽で世代を越えた交流を～

強い日差しの中『ぼんどふえすた in しばた』が、8月25日に柴田町太陽の村で開催されました。ベテランバンド「オールドボーイズ」をはじめ19組のバンドが出演し、会場は大いに盛り上がりました。仲間5人で出演した小田部友香さん（槻木中3年）は「お客さんが多くてびっくりしたけど、演奏はうまくいきました」と充実した様子で話してくれました。青少年の健全育成を目的とした町民手作りのこのイベントは、今回で13回目となりました。

珍しい展示も！

NEWS

大盛況の夏祭り

第5行政区の船岡中央夏祭りが8月24日、仙南信用金庫駐車場で開催されました。お楽しみ大抽選会のほか、ブレイクダンスやチャアダンス、空手の演武などの催し物に多くの方が集まりました。また、東日本復興イベントとして、日本でも数体しかないジャイアントパンダの剥製が展示され、来場者は珍しい剥製とふれあっていました。家族で来場した板橋侑星くんは「ちょっと怖かったけど、大きくてふかふかしてた。」と話してくれました。



ジャイアントパンダの大きさにびっくり！

広 告

広 告



廊下の壁に感謝のメッセージを残す卒業生、卒園者のみなさん

1 日限りの登校日

建替前の船迫児童館（旧船迫分校）を見学する「ありがとう、さよなら船迫児童館」が、8月31日に開催されました。この建物は、昭和32年に船迫分校として建設され、廃校後の昭和55年に船迫児童館として生まれ変わりました。当日は、卒業生、卒園者のみなさんが懐かしみながら登校していました。船迫分校で学んでいた佐藤光枝さんは「久しぶりに来ました。当時の思い出が出がよみがえります」と話してくれました。

生涯スポーツは太極拳 華麗なる日中親善の舞

NEWS

山登りを楽しむために、太極拳で足腰を鍛えている桜山遊会太極拳部が、9月7日に船迫生涯学習センターで「日中親善太極拳演武会」を開催しました。演武会では、中国東北地区三省で太極拳演武No.1の劉立範老師を中国から招き、部員と共に華麗な演武が披露されました。主催した部長の佐藤町子さんは「太極拳は、私たちの生涯スポーツ。多くの人に劉先生の演武を見てもらい良かった」と満足気でした。



参観者150人を前に演武する劉老師



今年も綺麗に育ちました

秋の花の彩り

NEWS

“ポットマム”

9月中旬に見頃を迎えるポットマムの展示即売会が9月14日～16日に観光物産交流館さくらの里で開催され、大勢のお客さんで賑わいました。展示即売されたポットマムは、柴田町鉢花研究会の皆さんが四日市場地区や成田地区などで丹精込めて作ったものです。家族で栽培を営む斎藤貴裕さんは、「花もちがよく、鉢いっぱい花を咲かせます。ぜひ楽しんで見てほしいです。」と話してくれました。

広 告

広 告



はなみちゃんからの フラワーレター

いよいよ開幕！「みやぎ大菊花展柴田大会」

柴田の秋を彩る「みやぎ大菊花展柴田大会」が、今月20日(日)に開幕します。県内最大の菊花展です！丹精込めて育てられた菊花をはじめ、千輪咲きや菊人形などもご覧ください。

期間 10月20日(日)～11月13日(水) 場所 船岡城址公園

料金 大人：200円 子ども(小学生)：100円

問 商工観光課 ☎55-2123



▲菊師の技で艶やかに輝く「菊人形」

◀絢爛豪華「菊花五重塔」



丹精込めた「千輪咲き」

ガーデニングを楽しんで！

10月の庭仕事

- ❖ 四季咲きバラが開花します。花が咲き終わったら、なるべく葉は残して花ガラだけを切り取りましょう。
- ❖ チューリップなどの球根は今月中(遅くとも11月上旬まで)に植えましょう。
- ❖ 戸外で管理していた観葉植物や洋ランなどは、最低気温が15度くらいになったら軽く整枝して、室内に入れましょう。

こうほう 文芸

短歌

田んぼ道孫と歩けば穂の並が
皆で豊年万作うたう
町はずれ梅檀匂う医院ありて
地域の人の命見守る
この朝霧のペールを纏へるも
茗荷の花は白く冴えいる
のりちゃんは雀の簪髪に差し
そんな夢みた古希の朝なり

本船迫 森田 眞六
船岡 沢田 順子
船岡 つかのめ けい子
船岡 葎神 葛

川柳

ストールを編みながら思う友の顔
叩いてはポンポンいい音西瓜腹
人生は山あり谷あり株価のよう
シルバー席若者達が占領し
災害に備えびつちり保険かけ
太棹の三味のじよんがら宙に舞う
回想に耽って日送りする老婦
太っ腹たたいて見れば秋の空
子育てに新米ママの四苦八苦
人生の終点見えて線消える
線香花火の生涯思う送り盆
検診が近づき慌てる日頃かな

船岡 阿部美代子
船岡 伊藤タイ子
西船迫 安ヶ平良三
四日市場 郷土 山櫻
四日市場 曳地 真翔
西船迫 大沼 一路
船岡 佐藤 春市
船岡 早坂 洋子
船岡 阿部トクエ
船岡 幕田 昇
西船迫 長尾 純子
西船迫 渡辺 晴奈

俳句

阿武隈の架かる大橋鳥渡る
台風につつかり合ひて絵馬と絵馬
霧の中光り輝く女郎花
秋の声深く身に入る啄木碑
ああ父母よふところ深き夏の岩手山
空模様千変万化秋の音
百才の笑みこぼし星祭つつる
秋茄子を嫁はうまそに臨月に

榎木 永井 堯
下名生 笠松フミコ
西船迫 玉手みき子
榎木 大泉かづえ
西船迫 安ヶ平奈津枝
船岡 安藤 節子
船岡 水戸 貞夫
船岡 大槻 信吉

広告



夢空間 2013

女王の番犬 (ペンネーム)



はなちゃん (ペンネーム)



smile kids お子さん (4歳まで) の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間 2013)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで10月11日(金)までご応募ください。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎ 54-2111

こども美術館



「宇宙から来た鳥」

柴田小学校 3年

まつもとひろき
松本大輝さん



「海の中で将棋」

柴田小学校 4年

あおやぎれいな
青柳玲奈さん

広 告

広 告

広報 **しばた** お店や会社のPRに 有料広告募集中!

「広報しばた」に掲載する広告を募集します。お店や会社のPRなど、暮らしに役立つ広告をお待ちしています。掲載料金などの詳しい内容については、お問い合わせください。

☎まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

思いを胸に 『受けついだ技術を磨き誰にも負けない気持ちで』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



東北大江工業株式会社
本社工場 製缶課

課長代理
安藤 英之さん(32)
船迫在住



ケガキ作業を行う安藤さん。

「今の技術は、先輩から叩き込まれました。怒られながらいっっぱい苦労して。」と笑顔で話してくれた安藤さんは、東北大江工業株式会社に入社して今年で14年目になります。一貫して製造関係の業務に携わり、ステンレス板をロール状に曲げて溶接し、何枚も重ね合わせてタンクやサイロなどを製造する製缶課に所属しています。浄心幼稚園にある大きな滑り台は、独自の技術で製造したものです。また、課長代理として後輩などの指導にあたり、会社の経営改革委員として製造の立場から生産コスト改革にも取り組んでいます。

「入社当時は覚えが悪かったのですが、先輩に怒られながらもいろいろ指導されました。今はやっと自分で製造できるようになりました。今後は新しい技術を身につけて、他の分野にも取り組んでいきたいです。目標とする先輩方を追いつきたいですね。」と抱負を話されました。

柴田町で生まれ育った安藤

さんは、プライベートでも2人のお子さんを育てるよいお父さんです。「週末は家内が仕事なので子ども達と一緒に遊んでいます。」と育児にも一生懸命。

家庭ではよき父であり、職場では技術者・指導者として、人には負けたくない熱い思いを胸に抱く安藤英之さんです。

東北大江工業株式会社



ステンレス鋼を用いた一般産業機器の製作専門メーカーとして昭和20年に創業。昭和40年に東北大江工業株式会社として設立。圧力容器・貯蔵用タンク・槽・熱交換器などを製作。

人口と世帯数
(平成25年9月1日現在)



38,647人
(前月比8人増)



19,213人
(前月比9人増)



19,434人
(前月比1人減)



15,053世帯
(前月比14世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。